



これまで これから



生活者ネットワークは…



市民と議会・行政をつなぐ
パイプ役として
議会に議員を送り出している
地域政党

都内に34地域ネット
42人の議員

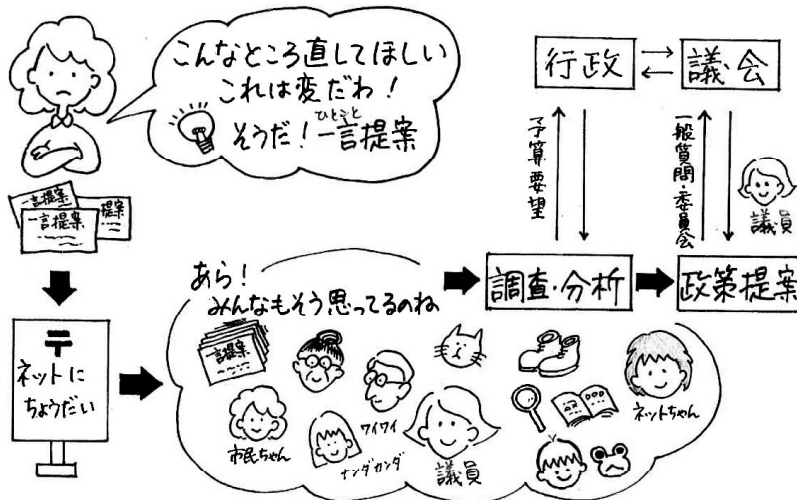
生活課題の実態調査から
政策提案

調布では、1990年に「増加する食品添加物から子どもを守りたい」「おいしい地下水を飲み続けたい」と活動していた市民が調布・生活者ネットワークを立ち上げ、翌年初めての市議会議員を誕生させました。以来、継続して生活者である市民を議会に送り出しています。



30年の時間が過ぎて暮らしの中の課題も多岐にわたるようになりました。特に介護や子育て、教育、さまざまな格差など個人の努力だけでは解決できない課題が深刻さを増しています。これはまさに政治が市民の暮らしから遠のいている証です。今こそ政治を市民の側に引き寄せ、「道具」として使いこなすことが必要です。

政治を人まかせにはできません。市民からのひとつ提案やひとりでは解決できない共通の課題をみんなで考え、議会できりあげ、施策につなげていくことが大切です。“誰もが暮らしやすいと感じるまちを市民が力を合わせて創る”、それが調布・生活者ネットワークの目指す政治です。



生活者ネットワーク 3つのルール

1 議員はローテーション

2 議員報酬は
市民の政治活動資金に

3 選挙はカンパと
ボランティアで